

# 平成29年度の運用結果

平成30年3月末の年金資産残高： 492億円

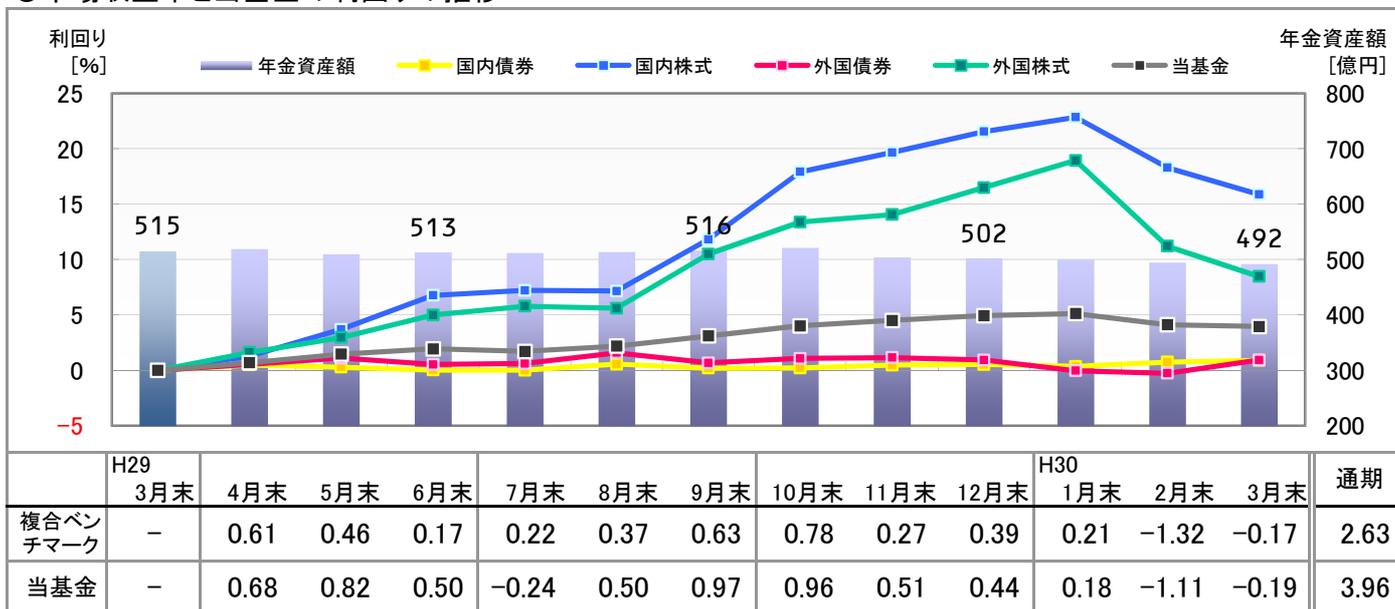
平成29年度の運用利回り： 3.96%

29年度の株式市場は、主要国の堅調な経済指標・良好な企業業績を背景に、最高値を更新するなど好調に推移していましたが、2月に入ると米国の長期金利上昇に端を発した世界同時株安、リスク回避による円高が進行しました。3月も米国の保護貿易主義政策の影響を受けましたが、1月までの貯金により2年連続でプラスとなり、債券市場も若干のプラスだったことから、通期で見ると良い市場環境でした。

当基金は株式への配分比率を下げておりますので、市場暴落の影響を最小限に留めたうえで、生命保険の一般勘定やオルタナティブ資産により安定的に収益を積み上げ、結果として予定利回り2.75%・複合ベンチマーク2.63%を上回る3.96%で終わりました。

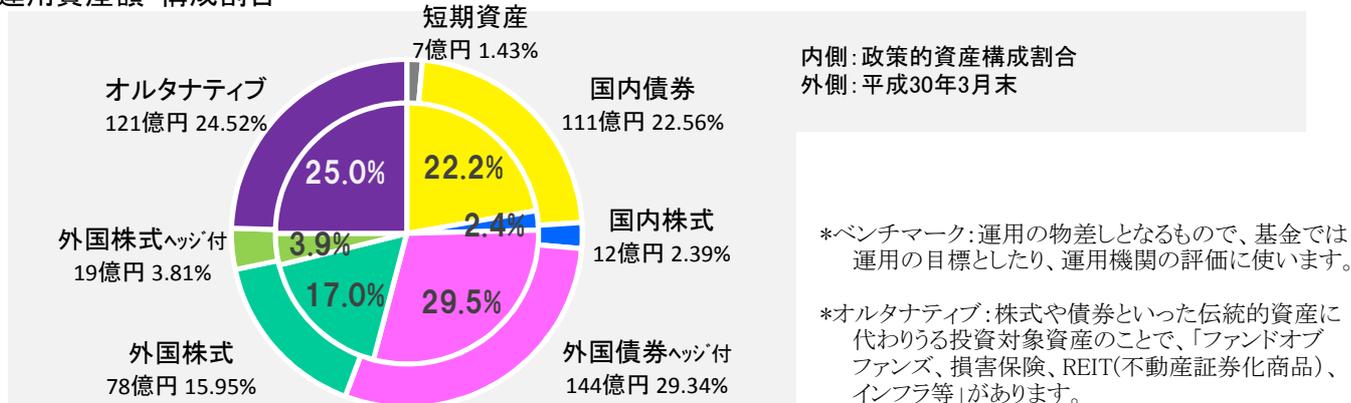
なお、厚生年金基金の代行給付が6月の支払いまで継続したことや、基本プラスα部分の清算を開始したことにより、プラスの収益率ですが資産額は減少となりました。

## ◎市場収益率と当基金の利回りの推移



- \* グラフは通期、表は単月の利回りとなります。
- \* 平成29年3月末は、全国測量業厚生年金基金の年金資産残高です。

## ◎運用資産額・構成割合



当基金では、将来の給付に備え積み立てている資金を信託銀行や投資顧問会社等に分散して運用を委託し、債券市場や株式市場等で運用を行っています。基金制度の性格上、長期にわたって予定する収益を着実にあげられるよう、運用の基本方針に基づいた確かな運用に努めています。